



磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校

令和7年10月4日

第9号

発行責任者 天野 圭

キラキラとひとみが輝く二小の子ども

【子どもたちが知っている曲でのコンサート】



今月1日（水）に「福島県警察音楽隊」の皆様にご来校いただき芸術鑑賞教室を実施しました。

今回は、児童が在籍していない地区の方々にも案内パンフレットを配付し、たくさんの方々に楽しんでもらおうと企画いたしました。当日は、40名以上の方々にご参加いただき、児童、職員と共に素晴らしい時間を過ごすことができました。

現在、地域の皆様から熱い協力をいただきながら教育活動を展開している学校です。しかし、今後少子高齢化に伴い、他者との関わり合いが少なくなり、地域との連携も希薄になることが懸念されます。

そんな中、学校が地域の中核となり「地域コミュニティ」の架け橋になることを願っています。地域との連携をより密にし、地域の活性化や安心・安全な町づくりに貢献できたらと思っています。

今後も地域の方々に向けた企画を発信いたしますので、積極的にご参加いただければ幸いです。



【校長のひとり言】

先日、職員室で「還暦祝い」をしていただきました。早いものでもう還暦です。（気持ちは40代ですが…。）あと半年で30数年の教職人生も終わります。

いろいろな学校で子どもたちや先生方と辛かったり、大変だったりの経験は思い出されるのですが、楽しかった思い出は宿泊学習や修学旅行さらに宴会や職員旅行等しか浮かばない現在です。今後、少しずつ振り返ってみたいと思います。本校職員の皆様にご心より感謝です。ありがとうございました。あと少しよろしく願いいたします。



【ラーケーションについて】

近年、英語で、学ぶ意味の「ラーニング」と休暇の意味の「バケーション」が組み合わさり「ラーケーション」という造語が作られました。

この意味は、「平日、子どもが保護者や家族と一緒に多様な場所で体験的な学びを深めること」が大きいなねらいです。そして欠席扱いにはなりません。

背景として

- ・全国的に土・日曜日が休みの保護者が減っていること。
- ・学びの質を高めるために、各家庭での社会学習に重点をおいてきたこと。

そこで、保護者や家族と一緒に平日学びを深める「ラーケーション」という言葉が作られるようになりました。

全国的には、すでに実施している自治体もありますが、福島県としては県立高等学校や県立中学校から試験的に導入し、その後公立小中学校に導入する予定です。

また本町教育委員会でも検討しているところです。実施する上で懸念されるのは

- ・年間何日使用可能か。
- ・事前の学習計画、事後の報告書提出等が必要になるのか。
- ・平日休むことで学習の遅れに繋がらないか。
- ・ラーケーションできる場所等の受け皿があるか。
- ・学校行事と重なる場合は取得できるか等

今後、町全体として検討していかなければなりません。

例えば、次の内容ではラーケーションとは言えない場合があります。

- ・兄弟の大会応援のために平日に休むこと。
- ・両親の実家が遠いために平日家族で里帰りすること。等

まだ、本町では導入が決定しておりませんので、疾病以外に欠席理由に悩んだ場合は、本校までご連絡願います。

「働き方改革」に合わせた「休み方改革」ですね。



【生き生きフェスティバル写真集】

